

# 偕行現代考

## 元号の改元に伴う『偕行』の編集準備

編集委員会

既に会員各位はご承知のことと思いますが、来年5月1日をもって元号が変わります。国民の総意を得て今上天皇が退位され、新天皇の即位に伴い新元号になります。それに伴い、日本にとって新しい時代が開かれ、新たな気風が誕生することが期待されます。

1 今上天皇のお写真やお言葉の掲載  
平成31年までの間、天皇・皇后両陛下におかれましては、国民に寄り添うことを重視されてこられました。先の大戦における戦没者の慰霊としてサイパン、パラオ、フィリピン等、海外を御訪問されました。また、数々の自然災害の後には、被災地に足を運ばれ、被災者をお見舞い、激励されてこられました。会員各位におかれて、慰霊・巡幸時や一般参賀でのお写真をお持ちの方は、是非、ご提供をお願いいたします。その際、写真の版權について特にご留意ください。また、陛下のお言葉

や貴重な思い出があれば、ご紹介いただきたいと思えます。

ちなみに、平成元年2月号の表紙は、白馬に騎乗した大元帥の昭和天皇の御写真で、新聞社から購入した写真を飾っています。

2 皇太子殿下のお写真お言葉の掲載  
次期天皇に即位される現皇太子のお写真やお言葉も、お寄せください。編集委員会で慎重に審議し、掲載時期、要領について検討します。

3 表紙題字の一部変更の検討  
新しい時代の到来を象徴することと、一般の国民や若い読者・これからの方の会員にわかるよう『偕行』題字を読みやすくしてはどうでしょうか。

現在の『偕行』題字は、大山巖元帥の揮毫を用いています（平成12年1月号参照）。明治35年の表紙から、それまでの『偕行社記事』を縦書きに代えて用いてきました。

戦後の偕行社の機関紙は、昭和27年に『月刊ケ谷』から『偕行』とし、大山元帥の揮毫の一部を用いました。当初は縦書きでしたが、平成4年に横書きに変更しています。

との質問を受けることが多くなりました。

別冊の入会促進パンフレット等では、明朝体の読みやすい「偕行」の表題を用いています。

元号が変わるこの機会に、題字をわかりやすい文字にしてはどうでしょうか。ご意見をお寄せください。年内に、編集の方向を決めたいと思います。

靖國偕行文庫に於て調査した結果、左に記した題字は当時の参謀総長・侯爵・大山元帥の書であることが確認されました。明治21年7月に創刊された『偕行社記事』は、明治35年4月より表紙を一新して、横書の表題を縦書の表題としました。

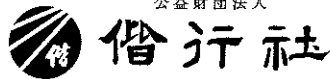
明治二十一年七月第一号



第一号

元幹部自衛官と旧陸軍将校の会

公益財団法人



偕行社



公益財団法人

偕行社

元幹部自衛官と旧陸軍将校の会

ご案内



（第二百八十七号）